

令和 2年度予算見積調書

課室名：水辺再生課
 担当名：ダム管理担当
 内線：5142

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B50	社会資本整備総合交付金（河川）事業費（水辺）		一般会計	土木費	河川費	河川改良費	社会資本整備総合交付金（河川）事業費	
事業期間	平成22年度～	根拠法令	河川法第9条、第17条、第60条、第66条			宣言項目		
					分野施策	020518 治水・治山対策の推進		
1 事業の概要			5 事業説明					
水環境の悪化している河川を対象に、底泥のしゅんせつによる河川の水質改善を行うことで、良好な河川環境を構築する。また、遊歩道として利用できる河川管理用通路の整備を行うことで、河川とまちが融合した良好な空間を形成することを目指す。 ダム管理施設を適宜、適切に維持管理・更新していくために、計画的に整備を実施する。 (1) 河川環境整備事業 213,611千円 (2) 堰堤改良事業 35,000千円			(1) 事業内容 ア 河川環境整備事業 213,611千円 水環境の悪化している河川を対象に、底泥をしゅんせつし、河川の水質改善を行う。 また、遊歩道として利用できる河川管理用通路の整備を行い、河川とまちが融合した良好な空間を形成することにより、河川環境の改善を図る。 ・菖蒲川 (しゅんせつ) ・元荒川・新方川 (管理用通路整備) ・新河岸川・柳瀬川 (管理用道路整備) イ 堰堤改良事業 35,000千円 ダム管理設備を適宜、適切に維持管理・更新していくために計画的に整備を実施する。 ・有間ダム貯砂ダム築造工事 (2) 事業計画 ア R2 完了 : 元荒川・新方川 R4 完了 : 菖蒲川 R5 完了 : 新河岸川・柳瀬川 イ 長寿命化計画に基づきダムの堰堤改良事業を実施 (3) 事業効果 ア 水質改善や良好な河川空間を形成することで、県民の河川環境への意識の向上を図る。 イ 貯砂ダムを築造することにより、土砂をダム湖内へ流入する前に捕捉でき、堆積した土砂を容易に掘削して搬出することができるため、効率的・効果的な堆砂対策が図られる。					
2 事業主体及び負担区分								
(1) 河川環境整備事業〔(国1/3・県2/3)〕 (2) 堰堤改良事業 [有間ダム(国26.6%・県39.8%・企業局14.4%・飯能市19.2%)]								
3 地方財政措置の状況								
河川事業債（一般公共事業債） 充当率 90%（通常分90% 財対分0%）								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
(1) 事業に係る人件費 9,500千円×2.5人=23,750千円 (2) 組織の新設、改廃及び増員 なし								
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
		国庫支出金	諸収入	県債				
決定額	248,611	79,696	11,760	157,000			155	
前年額	248,611	79,696	11,760	157,000			155	